

公益財団法人小岩井農場財団第3期の事業報告及び決算について下記のとおり報告いたします。

2021 年度事業報告

事業期間：2021年4月1日から2022年3月31日

2021年度事業について

本財団事業に平素より格別のご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年12月に本財団の公益財団法人化が認定されて以来、3期目の活動となります2021年度は、重要文化財「小岩井農場施設」の歴史的建造物21棟の保全、補修に向けて、耐震診断事業及び耐震計画を推進すると共に、先端技術を活用しての学術的調査研究及び公開普及の為の「小岩井農場重要文化財ギャラリー」展示館の開設並びに上丸地区重要文化財の公開等、本財団の事業基盤の整備と充実を鋭意推進して参りました。

三菱グループからは本財団への多大なるご支援を賜ると共に、文化庁からも「令和3年度文化財保存修理補助事業」として、上丸地区の第一号牛舎等、重要文化財7棟の耐震補強に向けた耐震診断調査実施、及び高性能レーザースキャナー等の先端技術を活用しての本部事務所及びサイロを含む5棟に対する三次元点群データ集積実証試験等の事業実施に対しご指導を賜りました。

我が国を代表する近代農業遺産である小岩井農場施設の重要文化財群の学術調査研究の推進に向けて、同じく重要文化財群である札幌農学校第二農場を管理する北海道大学総合博物館と本財団との間で、学術連携協定を締結することが基本合意となりました。これは、官民連携で我が国の牧畜をはじめとした農業近代化の変遷と発展に対する共同研究の取り組みの推進を目指すものです。

また、公開普及活動としては、2021年度も新型コロナウイルス禍の影響から、重要文化財小岩井農場施設上丸地区の入場ゲートの運用程度に留まり、学術セミナー開催等の企画を見送ると共に、小岩井農場重要文化財ギャラリーの来館者数も低調となり、十分な活動実績には至り

ませんでした。

2021年度も重要文化財の調査研究に対し、小岩井農場重要文化財保存活用検討委員会の3名の大学教授の委員方には、当年度も文化財調査・保護に多大なご協力を頂いており、耐震診断に係る一連の調査に於いても、建造物の特徴を表す建築学上の新事実が解明されると共に、小岩井農場施設の大きな特徴である稼働遺産として、将来に亘る活用を踏まえての的確な助言を頂き、文化庁認定に向けた保存活用計画に反映させることができました。

2022年度以降も2023年度から着手予定の重要文化財の耐震補強と修理工事に向けての準備と検討を計画的に進めていくと共に、本財団の設立目的のひとつである近代農業遺産の調査研究を一層深めていく計画にあります。

2022年5月

公益財団法人小岩井農場財団

代表理事 辰巳 俊之

2021 年度公益財団法人小岩井農場財団第 3 期事業報告書
(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日)

1. 主な事業活動等報告

年月日	事業内容	摘要
2021 年 4 月 1 日	令和 3 年度文化庁補助事業交付決定	耐震診断事業
2021 年 4 月 1 日	文化庁補助事業委託業者へ見積り依頼	見積合せ 4/20
2021 年 4 月 15 日	三菱グループ各社への寄附金出捐依頼	
2021 年 4 月 16 日	小岩井農場重要文化財ギャラリーオープン	メディアお披露目会
2021 年 5 月 1 日	耐震診断事業委託業者と契約締結	耐震診断調査、技術指導
2021 年 5 月 2-4 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2021 年 5 月 18 日	監査	
2021 年 5 月 24 日	第 1 回通常理事会開催	2020 年度事業報告及び決算他
2021 年 6 月 10 日	第 1 回定時評議員会	2020 年度事業報告及び決算
2021 年 6 月 10 日	第 1 回臨時理事会	代表理事選任
2021 年 6 月 17 日	定期提出書類送付	内閣府
2021 年 6 月 24 日	先端技術活用調査事業申請書提出	
2021 年 6 月 24 日	先端技術活用魅力発信事業成果報告書提出	
2021 年 7 月 13 日	北大との文化財関連の連携に向け打合せ	
2021 年 8 月 6-8 日	ギャラリー入館者数調査	訪日外国人アンケート調査
2021 年 8 月 17 日	派遣スタッフ業務開始	1 名
2021 年 9 月 1 日	先端技術活用調査事業交付決定	
2021 年 9 月 1 日	先端技術活用調査事業入札公告	開札 17 日不調
2021 年 9 月 11-12 日	文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断中間報告他
2021 年 9 月 17 日	先端技術活用調査事業入札再公告	開札 10/7 日
2021 年 9 月 29 日	令和 4 年度補助事業県ヒアリング 出席	耐震診断事業、先端技術活用事業
2021 年 10 月 7 日	文化庁調査官指導 (TV 会議方式)	保存活用計画
2021 年 10 月 11 日	文化庁調査官指導 (TV 会議方式)	先端技術活用調査事業
2021 年 10 月 12 日	第 2 回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2021 年 11 月 9 日	文化庁調査官現地指導	耐震診断事業
2021 年 11 月 10 日	保存活用検討委員会開催	保存活用計画
2021 年 11 月 17 日	文化庁調査官視察指導	修理事業
2021 年 11 月 24 日	文化財消防訓練	対象：下丸地区倶楽部
2022 年 1 月 14 日	文化庁調査官現地指導	先端技術活用調査事業
2022 年 1 月 25 日	令和 4 年度保存修理事業費補助金交付申請	耐震診断事業
2022 年 2 月 3 日	文化庁調査官現地指導	保存活用計画
2022 年 2 月 19-20 日	文化財保存活用検討委員会開催	耐震診断/耐震補強計画検討
2022 年 2 月 22 日	第 2 回通常理事会開催	2022 年度事業計画及び収支予算
2022 年 3 月 7 日	定期提出書類提出	内閣府
2022 年 3 月下旬	令和 3 年度補助事業完了(先端技術活用調査 3/16、耐震診断 3/25)	実績報告書提出、請求書提出

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

- ①・重要文化財の 6 件の破損を受け、文化庁へのき損届提出(第一号牛舎、第四号牛舎、第一号サイロ、第二号牛舎、倶楽部、四階建倉庫)。内 2 件(倶楽部、四階建倉庫)の文化庁へ修理届提出並びに賠償保険対象により保険金請求手続き
- ・機器更新について文化庁へ相談及び報告-第四号牛舎搾乳設備
 - ・保存活用計画の認定に向けての改訂
- 小岩井農場株式会社が平成 31 年に策定した保存活用計画に基づき、文化財保護法改訂による記載表記の改訂を行

う為に、文化庁調査官及び保存活用検討委員と数度の協議を持ち、認定に向けた改訂を進行中。

②文化庁の2件の補助事業の遂行

- ・耐震診断事業(第一号牛舎他6棟)-2020年度から継続して実施している倶楽部他2棟は追加調査結果を加え、耐震補強計画策定完了。2021年度から新規に実施した第一号牛舎他3棟は耐震診断を終え、簡易な補強案提案を受ける。今回の調査に基づき付属サイロの調査結果を加味した耐震補強案策定の為、4棟については令和4年度の継続事業とした。
- ・先端技術活用調査事業(本部事務所他4棟)-将来の修理及び建造物の基礎データの構築の為、先端技術を活用した調査を実施。実測では困難な上部のデータを含む建物の点群データの集積、煉瓦造サイロのデータ構築。

③文化庁へ「令和4年度保存活用費補助事業建造物耐震診断事業」の申請

耐震診断事業(第一号牛舎他11棟)3か年事業の内、2022年度は第一号牛舎他7棟を申請。

2)公開普及事業

①展示館事業

- ・「小岩井農場重要文化財ギャラリー」4月16日オープン
- ・開館期間：2021年4月16日から11月3日
- ・入館者数：(推定)35,457人、外国人入館者数(推定)95人 外国人比0.3%
- ・GW及び夏休み期間、ギャラリー入館者数調査及び訪日外国人対象のアンケート調査実施。

②文化財公開事業

- ・上丸地区牛舎見学_ゲート利用者数 789人

3.経常収益の内訳

- ・事業収益：公開普及事業-(施設利用事業)文化財利用料、上丸入場料
- ・受取補助金：国庫補助事業交付金
- ・受取寄付金：三菱G寄附金
- ・雑収益：受取利息、損害保険料

以上